

- 阿部先生も初めてお目にかかる方でしたので、最初はどのような先生かと戸惑いましたが、様々なお話を聞くことが出来て良かったです。たんぼぼに通われているお母さん方は内容はお子さんによって違うと思いますが、悩みや気持ちを共有することは出来ると思います。とはいえ、普段はなかなかじっくり話す時間がなかったり、そういう状況ではなかったりすることが多い気がしています。全員の前で、最初から気軽に全てをというのは難しくても、少人数でクラスが違ってもお話し合える機会があれば（増えれば）良いなあと思います。
- 阿部先生との懇談会で他のお母さん方の深い悩み大変さを今まで以上に知ると同時に、阿部先生がおっしゃる本音で話せるお母さん同士の絆、場のようなものが必要であるというのは理解できても、とても難しいと感じました。身体的な障害で有れば同じ病名のお子さんをもつお母さん同士で本音を語れたり、社会福祉制度の活用もある程度は上手に使うことが出来ると思いますが、発達障害の場合、その子その子で違い、年齢によっても、その子の特徴によっても良くなっていくかそうでないかもわからないことで、同じような状態だったり、見通しのもてるお母さん同士でないと本音で話し合うのは難しいのかなと感じました。私もRが2才半で睡眠が長く出来るようになるまで、夜も1時間まとめて寝られれば良い方というのをこま切れに足してという感じで、年中寝不足の中、日中はずっと子どもに目をかけなくてはなく、家事をするのも四苦八苦で、機嫌良く過ごさせるため（半分はずっと騒がれるのに耐えられないから）イライラしながらいたずらされない様、工夫しても、やってしまうことは、好きなようにさせ、好きな散歩をいっぱいさせたり、騒ぐ所には連れて行かないなど、これ以上何をすればいいのかわからないという時が長く続きました。でも毎日のようにぐちを聞いてくれる母が居て、手伝いにも来てくれ、何よりも今はそれが過去形になっているから、余裕が少しもてるようになったので、今もそういう最中にいるお母さんに何も言えなく、その大変さに胸が苦しくなります。本当に余裕がない時はボーッとしたり本を読んだり、ネットを調べたりなんて、とても出来る状態でなく、毎日、子どもと過ごすので精一杯です。たんぼぼホームの先生方はとても親身になってくれ、ここに来られて皆さん自分達だけでいるより、とても安定して過ごせるとは思います。それだけでは足りない方には、もっと窓口となる行政が積極的に支援してくれればと思います。自閉症、発達障害だと人それぞれ違って気にかかるところが違ったりして、他の子の症状はよく思えたり、騒いでいてもそんなに気にかからなかったり、自分の子の大変な部分を理解しあえることもありますが理解しあえないところもあるように思えますが、勉強会などで今までこういう事例があったとか、いろいろな方のお話や考えを聞いたり、お母さん同士でも話したり、情報交換出来たりするのはとても必要だなあと思います。たんぼぼホームでは実際、先生が長い時間接してくれ、幼稚園なども情報を教えていただいたり出来ますが、また診断や相談も受け付けてくれますが、ここを卒園したら、また自分達だけでやっていかななくてはならなくなる気がして少し不安を覚えます。